

◎ ペレット関連情報

■清本鐵工（株）（宮崎）、宮崎県工業技術センターとの共同研究により、バークペレットのクリンカ発生抑制技術の開発に成功。バークペレットは安価であるが灰分量が多いため、燃焼させた時に燃焼灰が熔融・固化して強固な塊状物（クリンカ）を生成し、安定した連続運転が困難になる原因となっている。同センターらは破碎したスギの樹皮にクリンカ生成防止剤として選定した酸化マグネシウム（MgO）粉末を1%配合したペレットを試作。清本鐵工が試作したボイラで燃焼試験を実施し、その結果灰の融点が上昇し、1250°Cを上限とする燃焼範囲ではクリンカが全く生成しないことを確認した。清本鐵工では今後、フォレストエナジー門川と協力して様々な使用環境に対応した混合方法や添加剤の調達、効果の評価方法、製造ラインの構築検討、販売価格・事業採算性検討等ビジネス展開に向けた具体的な事業化準備を進める予定【OSR No.256：2016/12/14、宮崎大学産学・地域連携センター掲載資料】

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/crcweb/sangakuwp/wp-content/uploads/sangaku/dabd4c35be1b97b2f2dd5277ed4bbe3c.pdf>

■（株）プロスペクト、12月16日に東京で開催された「日露ビジネス対話」分科会において、ロシアRFPグループとの木質ペレット生産事業への共同投資に関する意向表明書締結。RFP（Russia forest products）グループは極東ロシア最大の林業事業者で、ロシア全体でも最大手の1社。第1プロジェクトでは極東ロシア林業クラスターで9万t/年生産し、2019年から生産するペレットは100%日本向けに輸出される予定。第2プロジェクトでも50万t/年生産し、日本市場への輸出を目指す。両プロジェクトとも資金調達はジョイントベンチャーへの共同投資及び日本の金融機関からの借入を前提としている【同社：2016/12/16】

<http://www.prospectjapan.co.jp/ir/index.html>

■CLT工法による全館ペレットストーブ暖房の5階建てビルが奈良で誕生。奈良地域で主に障害を持つ人たちの学習や就労支援を続けてきた社会福祉法人ぷろぼの（奈良）が運営する「ぷろぼのCLT福祉ビル」で、2016年7月に完成、オープン。県産材を（株）大紀（奈良）がラミナに挽き、銘建工業（株）（岡山）まで運んでCLTパネルに加工し、組み上げた。1階がRC、2～5階が木造という4階以上の事務所棟としては全国初のCLTビルで、2016年秋にはウッドデザイン賞2016を受賞。ペレットストーブは大紀が販売代理店

を務める(株)山本製作所(山形)の「日陽(ひなた)PS-1311F」と「ほのかPS-711F」を各階に合計6台導入。2016年12月5日に点火式を実施【OSR No.268 : 2016/12/28、ふろぼのグループHP】

<http://probono.vport.org/%E3%81%B7%E3%82%8D%E3%81%BC%E3%81%AE%EF%BD%83%EF%BD%8C%EF%BD%94%E7%A6%8F%E7%A5%89%E3%83%93%E3%83%A B%E3%81%8C%E5%AE%8C%E6%88%90%E3%81%97%E3%81%BE%E3%81%97%E3%81%9F%E3%80%82/>

■滋賀県、木質バイオマスの利活用に関するアンケート調査の結果について取りまとめ、ホームページで公表。県は昨年度から県内の住民を対象に薪ストーブやペレットストーブ設置経費の一部を助成する事業に取り組んでおり、その対象者60名にアンケート調査を実施。60台の内訳は薪ストーブが48台、ペレットストーブが12台。回答者は54名(回答率90%)【滋賀県 : 2016/12/28】

<http://www.pref.shiga.lg.jp/hodo/e-shinbun/dj00/20161228.html>

■海外製薪ストーブ等の代理店である「フィンランドの森」(栃木)、フランスのアンヴィクタ社製「MIX(ミックス)」をこの冬から販売開始。導入コストは90万円程度とやや高めだが、ミックスは薪とペレットの両方を同時に燃やすことが可能【日経新聞 : 2016/12/28、同社HP】

<http://style.nikkei.com/article/DGXKZO11175650Y6A221C1NZ1P01?channel=DF130120166128>

<http://finwood.net/stove.html#invicta>

※ OSR・・・オンサイト・レポートの略